(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3557796号
(P3557796)
(45)発行日　平成16年8月25日(2004.8.25)　(24)登録日　平成16年5月28日(2004.5.28)

(51)Int.Cl.[7]　F I
E04H 1/12　E04H 1/12　301
E04B 2/72　E04B 2/72　B

請求項の数 1　(全 6 頁)

(21)出願番号　特願平8-186732
(22)出願日　平成8年6月27日(1996.6.27)
(65)公開番号　特開平10-18617
(43)公開日　平成10年1月20日(1998.1.20)
審査請求日　平成15年6月23日(2003.6.23)

(73)特許権者　000105693
コマニー株式会社
石川県小松市工業団地１丁目９３番地
(74)代理人　100087169
弁理士　平崎　彦治
(72)発明者　塚野　善則
石川県小松市工業団地１丁目９３番地　コマニー株式会社内

審査官　伊波　猛

最終頁に続く

(54)【発明の名称】トイレブースのパネル連結構造

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
壁面に対して仕切りパネルを垂直に据え付けし、該仕切りパネルの先端には正面パネルを当接して垂直に配置し、そして正面パネル間にはドアパネルを取り付けしているトイレブースにおいて、上記仕切りパネルの先端に形成した凹部にはコ型断面で係止部を側片先端を折り曲げて形成したバネ性のあるＡ連結部材を取り付けし、一方の正面パネル表面にもコ型断面で係止部を側片先端を折り曲げて形成したバネ性のあるＢ連結部材を取り付けし、これら両連結部材を互いに嵌合すると共に、両係止部を互いに係止して連結し、壁面には概略断面コ型をした壁レールを垂直に取り付けし、上記仕切りパネル端部をこの壁レールに嵌入したことを特徴とするトイレブースのパネル連結構造。

【発明の詳細な説明】
【０００１】
【産業上の利用分野】
本発明はトイレブースのパネル連結構造、すなわち仕切りパネルと正面パネルの連結構造に関するものである。
【０００２】
【従来の技術】
近年ではパネルを据え付けしてトイレブースを構成する場合が多く、部屋空間を仕切ると同じようにパネルでもってトイレ空間が仕切られている。勿論、パネル自体の構造は部屋空間の間仕切りとして用いられるものとは異なり、湿気に対して強く、耐薬品性にも優れ

たパネルが使用されている。
【０００３】
図５は従来の一般的なトイレブースを表しているが、壁面に対して垂直に据え付けされている仕切りパネル（イ）　の先端には正面パネル（ロ）　が垂直に配置されている。そして、隣り合う正面パネル（ロ）　、（ロ）　間には空間を設け、該空間にドア（ハ）　を取り付けしている。ところで、上記仕切りパネル（イ）　、及び正面パネル（ロ）　の上端には同図の（ｂ）に示すようにが笠木（ニ）が取付けられ、この笠木（ニ）は同図（ｃ）に示すごとくドア（ハ）　が取り付けされている部分にも両正面パネル（ロ）　、（ロ）　に跨がって設けられている。
【０００４】
ところで、仕切りパネル（イ）　は壁面側に凹部（ホ）　を形成し、該凹部（ホ）　に壁面に取り付けしている壁レール（ヘ）　が嵌入している。従って仕切りパネル側端と壁面との間には僅かな隙間を残して仕切りパネル（イ）　の位置が調整出来るようになっている。一方、仕切りパネル（イ）　の先端側には正面パネル（ロ）　が配置されているが、両パネル（イ）　、（ロ）　間にはカチットと称する連結具（ト）　が介在して連結している。
【０００５】
従って、所定の場所に据え付けされている仕切りパネル（イ）　に正面パネル（ロ）　を連結する場合、該正面パネル（ロ）　を多少持ち上げて上記連結具（カチット）に係止する。この場合、正面パネル（ロ）　の上部が天井との間に空間を残している場合には該正面パネルを持ち上げて係止することが出来るが、天井との間に隙間なく据え付けしたトイレブースであるならば、天井パネルを押し上げて係止しなくてはならない。しかし、仕切りパネルや正面パネルの上端を天井に直に接して据え付けすることはなく、間には笠木を配置している。従って、正面パネルを押し上げる際にはこの笠木も同時に押し上げねばならず、非常に面倒であり、作業性が悪い。
【０００６】
【本発明が解決しようとする課題】
このように、既に据え付けしている仕切りパネルに正面パネルを連結する場合には上記のごとき問題がある。本発明が解決しようとする課題はこの問題点であって、天井まで届くパネルにて構成したトイレブースであっても、仕切りパネルに正面パネルを持ち上げることなく簡単に連結することが出来るトイレブースのパネル連結構造を提供する。
【０００７】
【課題を解決するための手段】
本発明は仕切りパネルと正面パネルを連結する為に連結具を用いる点は従来と同じであるが、従来のカチットを使用する場合のように正面パネルを持ち上げて連結することなく、仕切りパネルを壁面側へ寄せた状態で正面パネルを据え付けしてしまう。そして、仕切りパネルを押し出して正面パネルと連結する。従って、仕切りパネルの先端及び正面パネルの表面には連結部材を取り付けしていて互いに嵌合する構造と成っている。
【０００８】
ここで連結部材の具体的な形状は特に限定しないが、互いに嵌合することが出来るように構成され、対を成す両連結部材にて連結具として機能する。一方、仕切りパネルは正面パネルを据え付けする際に支障がない程度に壁面側に後退することが必要であり、又両連結部材が嵌合するには仕切りパネルにある程度の速度を持たせて衝撃的に嵌合することが必要であることから、壁面間の距離が大きくなっても外観を損なわない為に、壁レールとしては概略コ型断面をした部材が用いられ、仕切りパネルの側端は該壁レールの両側片に嵌入している。以下、本発明に係る実施例を図面に基づいて詳細に説明する。
【０００９】
【実施例】
トイレブースとしての全体基本的構造は従来と同じであり、前記図５に示すごとく壁面に対して仕切りパネルが垂直に配置され、又仕切りパネルの先端には正面パネルが垂直をな

して据え付けられている。しかし、本発明では仕切りパネル及び正面パネルを支える支持構造は図５のように脚を用いることなく、床レールに配置したアジャスターにてパネルを支えるように構成している。従って床レールに被覆する巾木を有し、仕切りパネルはスライドすることが出来る支持形態となっている。

【００１０】

図１は仕切りパネル又は正面パネルの下端部を表している支持形態を示しているが、これら各パネルの上端は天井に接している場合と天井との間に空間を残している場合がある。勿論、本発明の連結具は天井との間に隙間なく接している場合に該連結具としての効果を十分に発揮することが出来る訳であるが、パネル上部がオープン形式であって天井との間に空間があっても、本発明の連結構造を採用することは出来る。

【００１１】

図２は本発明の連結構造を表している具体例である。仕切りパネル１に対して正面パネル２は垂直を成し、間に連結具３を介して互いに連結している。この連結具３は対を成す連結部材４、５の組み合わせで構成され、Ａ連結部材４は仕切りパネル１の端部に、Ｂ連結部材５は正面パネル２の表面にそれぞれ取り付けされている。Ａ連結部材４は仕切りパネル先端面に凹部を形成し、該凹部に嵌合して取り付けされている。

【００１２】

図３（ａ）、（ｂ）はＡ連結部材４とＢ連結部材５をそれぞれ表している。Ａ連結部材４、及びＢ連結部材５共に断面コ型を成し、バネ性の板材を曲げ成形して製作されている。Ａ連結部材４はその両側片６、６の先端を内側に折り曲げて、内側面に板厚に相当する段差を設けている。一方のＢ連結部材５の両側片７、７はその一部を逆に外側に折り曲げて外側面に板厚に相当する段差を形成している。

【００１３】

従って、Ａ連結部材４にＢ連結部材５が嵌合する場合、Ａ連結部材４の側片６に段差をもって形成した係止部８にＢ連結部材５の側片７に段差をもって形成した係止部９が係止することになる。互いに係合した状態は前記図２に示したものである。

【００１４】

図４は仕切りパネル１と壁面１０との連結構造を示す具体例である。壁面１０には概略コ型をした壁レール１１が垂直に取り付けされ、この壁レール１１に仕切りパネル１の側端が嵌入している。壁レール１１の両側片１２、１２は先端側距離を狭くし、その為に嵌入した仕切りパネル１は隙間なく、又ガタ付くことなく据え付けられる。

【００１５】

そして仕切りパネル１は長い側片１２、１２を有す壁レール１１内でその位置を変えることが出来る為に、仕切りパネル１を壁面１０まで後退させた状態で正面パネル２を据え付けする。そして該仕切りパネル１を前進させてＡ連結部材４にＢ連結部材５を嵌合して両パネルを連結することが出来る。以上述べたように、本発明のトイレブースのパネル連結構造は、仕切りパネル先端と正面パネル表面に連結部材を取り付けし、互いに嵌合して連結したものであり、次のような効果を得ることが出来る。

【００１６】

【発明の効果】

本発明のトイレブースを構成する仕切りパネルと正面パネルは互いに嵌合する連結部材にて連結され、しかも連結部材はバネ力の作用で嵌合することが出来、安定したパネルの連結が可能となる。そして据え付けした正面パネルに対して仕切りパネルをスライドして連結することが出来る為に、パネルの持ち上げはなく、天井まで届くパネルを用いたトイレブースの場合には便利である。本発明では仕切りパネルがスライド出来るように長い側片を持った壁レールを用いている。

【図面の簡単な説明】

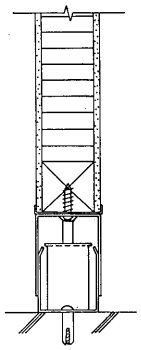
【図１】トイレブースを構成するパネル下端の支持構造。

【図２】仕切りパネルと正面パネルの連結構造を表す実施例。

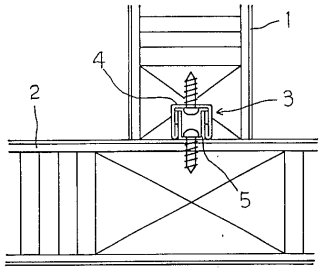
【図３】連結具を構成するＡ連結部材とＢ連結部材。

【図４】仕切りパネル側端と壁面との連結構造。
【図５】従来のトイレブースで、（ａ）は横断面、（ｂ）は正面パネルの縦断面、（ｃ）はドアパネルの縦断面。
【符号の説明】
１　仕切りパネル
２　正面パネル
３　連結具
４　Ａ連結部材
５　Ｂ連結部材
６　側片
７　側片
８　係止部
９　係止部
１０　壁面
１１　壁レール
１２　側片

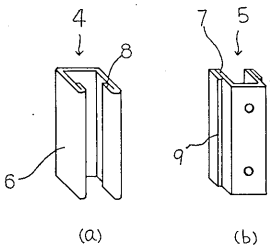
【図１】



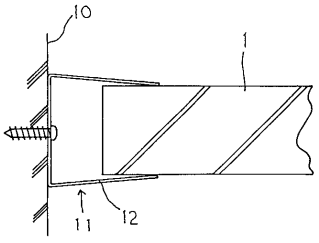
【図２】



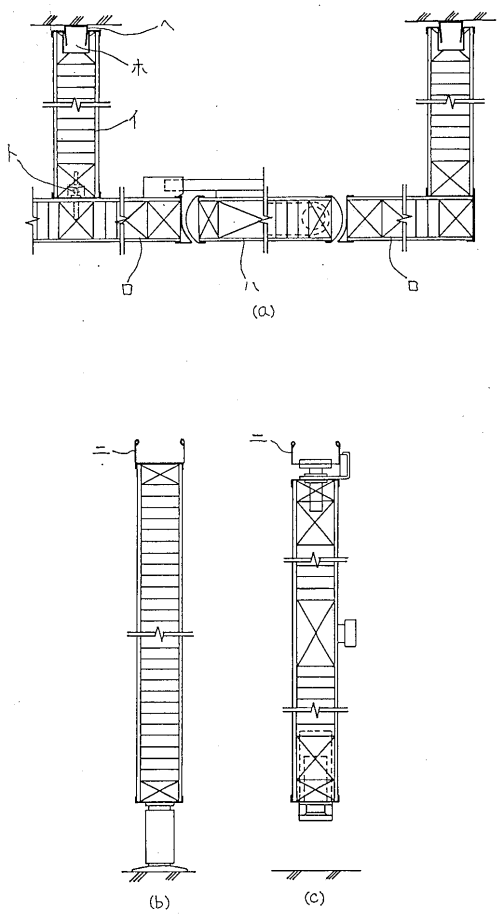
【図３】



【図４】



【図５】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平０２－０１３６３２（ＪＰ，Ａ）
実開昭５３－１０９３１２（ＪＰ，Ｕ）
実開平０６－０１６５３０（ＪＰ，Ｕ）
特開平０７－２３８６１２（ＪＰ，Ａ）
実開平０６－０２０６３８（ＪＰ，Ｕ）
実開昭６２－２０３３０９（ＪＰ，Ｕ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
E04H 1/12,301
E04B 2/72、2/74,501
1/61